

中央大学学術講演会

「空き家」問題 の処方箋

—中古住宅の利活用こそが地方創生の鍵だ—

日時 平成29年7月22日(土)

午後3:30~5:15(午後3:00開場)

場所 三島市民活動センター (三島市本町3-29 本町タワー4階)
☎055-983-2693

※本講演会は無料で申し込み不要ですが、会場の都合で先着50人までの聴講とさせていただきます。50人を超えた場合には立ち見による聴講となります。なお、会場に有料駐車場はありますが、台数に限りがあります。なるべく公共交通機関でお越しください。

入場無料
申し込み不要

先着50人

どなたでも聴講できます

人口減少に伴い空き家率は年々上昇しています。ニュース等では倒壊間近な空き家を自治体に取り壊す様子が取り上げられがちですが、実は大部分の空き家は利用可能なまま放置されています。その意味では空き家は地方にとって一種の埋蔵金とも言えるもので、これを流通に回し利活用できれば地方経済の活性化につながります。空き家が持つ潜在的価値とその利活用の仕方について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

中央大学法科大学院
野村修也教授

講師の主な経歴
厚生労働省顧問(2014年~現在)
金融庁顧問(1998年~現在)
大阪市特別顧問(2012年)ほか多数

講師



主催 中央大学、中央大学学員会静岡東部支部

問い合わせ

三栄不動産鑑定(株)

☎055-976-0827